

私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合
No.24 2018年11月30日(金)

学費減免制度拡充をめざし 岩手:一関地区、花巻地区で街頭署名

**私学助成
充実求め
街頭署名活動
県内20万筆目標**

区協議会)は23日、一関市石畑のいわて生協コープ一関コルザで街頭活動を展開し、参加した生徒と教諭が買い物客に私学助成の充実を求める署名への協力を訴えた。

署名は、国の就学支援金制度の拡充や私学への補助拡充などを国や県に求めるもの。一関学院高と一関修紅高の生徒、教諭18人が入り口に立ち、買い物客に署名への協力を呼び掛けた。買い物客も署名に応じ、生徒に「頑張っね」などと励ましの声を掛ける姿も見られた。



私学助成の拡充を求めて署名を呼び掛ける生徒

同協議会によると、市内でも授業料滞納による出校停止や修学旅行の参加を断念する生徒がいるという。一関修紅高生徒会長の小野寺愛夢さん(2年)は「立ち止まって署名に応じてくれる人がたくさんいて、うれしく思う。自分たちも寒さに負けず、できるだけ多くの署名を集めたい」と話していた。

2018年11月24日(土)付「岩手日日」

12月に国会と県議会に提出する。



盛岡大附属高校では今年新たな取り組みをしかけ、集約数を倍増させました

11/23(金)一関修紅・一関学院の2校合同で街頭署名実施。生徒14・教員5名の19名が参加。一関生協前で11時からの2時間弱で178筆集約。当日の気温3度の寒さで買い物客も足早に通り過ぎる中、高校生は一生懸命声を張り上げて「私学も学費無償に」と訴えました。同じ11/23(金)小雪の舞う花巻地区でも生協前で教職員2人が街頭署名を敢行。50筆を集約しました。